

アフガニスタン難民の生活を支援する会

日本では、難民認定を受けること自体が難しいのですが、難民認定を受けることができても、いざ家族を呼び寄せるといふ時になると、呼び寄せの手続き、家族で住むところ、子どもたちの教育のこと、お連れ合いさんの日本語学習、家族が生活していくための仕事と、念願の家族そろっての生活であっても大きな困難があります。国による難民に対する支援制度が十分とは言えない中、家族を呼び寄せた時、本人だけではどうしても解決できないことはもちろん、周りの友人が力を合わせてもできることには限界があります。

ところで、難民にかかわる支援活動は、海外の難民の支援はもちろんですが、日本に逃れて来ることができた人々が難民として認定されるための難民申請などの支援も従来から行われてきました。大阪では、難民認定申請にかかわっては、アムネスティ・インターナショナル、シナピス(カトリック大阪大司教区 社会活動センター)、RINK(すべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク)、RAFIQ(在日難民との共生ネットワーク)といった団体に取り組んでおられます。しかし、難民認定を受けることができた人々への生活支援を主な目的としている会はほとんどなく、難民認定申請を支援しているこれらの会や、そのスタッフなどが個人的なつながりの中で支援している場合が多いと思います。

わたしたちの会は、そのような中、難民認定を受けたアフガニスタン難民の今見さん(日本国籍を取得され現在は今見姓となっています)が、長年離ればなれになっていた家族を日本に呼び寄せるにあたって、家族が日本で生活するには様々な困難があるため、なんとかしなければと、今見さんを支えてきた人々が中心になって和泉市で2002年5月につくられた会です。

私たちの会は、活動の特長としては、日本社会の様々なルールや習慣についての相談など地域に根ざした近所づきあいの延長の活動と、住居や仕事探し、様々な行政機関や学校、病院等との連絡調整や関係者の理解や協力を得るための働きかけの両方を、きめ細かく行っていることです。また、家族への日本語教育、識字活動や地域や関係者の理解を得るための学習会や交流キャンプ等も実施しています。そのような地道な活動が認められ、2007年には大阪府の「草の根人権賞」の奨励賞もいただきました。

家族には4人の子どもがいらっしゃるのですが、来日した当時は小学生だった子どもたちも、一番上の子どもは、去年、大学に入学し、2番目と3番目の子どもは高校生、末っ子は中学3年生になりました。子どもたちの成長には、地元の信太小学校、信太中学校の理解がえられ、支援をしてくださったことが大きかったと感謝しています。

私たちの会は、会員が数十名と大きな会ではないのですが、会員一人ひとりができることを、それぞれが今見さん家族との交流をしながら行っています。難民の支援といっても、難しいことではなく、まずは家族とのつきあいからはじめます。この会の活動にかかわってみたいと思ったださる方は、ぜひご連絡をください。

〈連絡先〉

アフガニスタン難民の生活を支援する会 事務局
和泉市伯太町1247-7 TEL:0725-43-1047

みんなで作る学校とれぶりんか

私たちは、「みんなで作る学校とれぶりんか」というフリーサークルです。

4つの世代(①おじいさん、おばあさん②おじさん、おばさん③若者④子ども)で4つのテーマ(①福祉②環境③人権④平和)に取りくんでいます。

「不登校」「ひきこもり」「ニート」「障害児・者」「リストカッター」「うつ」など、社会的に弱い立場におかれている仲間たちの居場所づくりとしてスタートしました(2003年11月)。現在、音楽部、とれぶりんか劇団、子ども劇団、畑プロジェクト「つちのご」とれぶりんカフェ、ふれあいバドミントン等10の専門部が自立的に活動しています。

子どもたちや若者たちの目線で見つめてゆけなから、さまざまな社会の課題が透けて見えてきます。地域のコミュニティは劣化し、どの世代も孤立化傾向にあり、家族の絆さえ危ぶまれるほどです。

どうすれば、再生してゆけるのか。

私たちは、何よりも目の前の一人ひとりをつないでゆくことを大切にゆきます。課題を背負った子どもや若者こそ、取り組みのリーダーとして育ててゆけるのではないか。自らの痛みを通して働きかけてゆくことで、大人のしがらみも含めた厚い壁を破ってゆくことができるのではないか。その中から得た自信と喜びが、若者たちを変えてゆきます。

今、全力でとりくんでいるのが、「世代をつなぐ生命のバトンリレー」という取り組みです。被爆、ハンセン病、水俣病、沖縄戦など当事者が80歳をこえる高齢となられ、語り継がれなければならない大切な話が、直接にうかがうことがまもなく不可能になってしまいます。こうした先達の歴史や想いを、今の子どもや若者たちの言葉と思い、しっかりと受け取め記録してゆきたいと考えています。

ホームルームや、紙芝居、演劇、音楽などを通じて発信してゆきます。そんな子どもや若者たちを応援して下さい。お願いします。

〈連絡先〉

みんなで作る学校 とれぶりんか 事務局
TEL:090-4289-5317 TEL:072-826-3552

